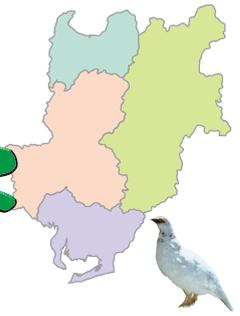




広報

中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



平成二十一年度 治山・林道工事コンクール



中日造林賞

治山・林道工事コンクールを始め 各種表彰式等を開催

(P2~3に関連記事)

主な項目	○ 各種表彰式等を開催	P2~4
	○ 現場最前線木曾署瀬戸川・氷ヶ瀬班	P5
	○ 風景紀行「戸隠高原」	P6

各種表彰式等を開催

平成二十一年度

治山・林道工事コンクリートの表彰式

〔森林整備課・治山課〕平成二十一年度治山・林道工事コンクリート表彰式を、二月二十四日に中部森林管理局において実施しました。

このコンクリートは、治山工事及び林道工事の適正化並びに施工技術の向上、意欲の高揚を図り、併せて設計技術の向上に資することを目的に治山部門は昭和四十二年度、林道部門は昭和四十四年度から実施しています。

本年度に中部森林管理局管内で施工した、治山工事一四八件、林道等工事十六件の工事を対象に施工管理全般及び安全管理について審査を行い、治山部門で十四件、林道部門で六件を優良工事として選出し、この中から、最優秀工事として治山部門・林道部門のそれぞれ二件を林野庁表彰に推薦し、治山工事二件と林道工事二件について農林水産大臣賞並びに林野庁長官賞を受賞しました。

また、優良工事として選出したその他の工事、治山部門の十二件、林道部門の四件と、新たに農林水産大臣賞、林野庁長官賞を受賞した工事の現場代理人、主任技術者並びに監督職員が中部森林管理局長賞を受賞しました。

二十四日の表彰式は、中部局管内の長野

県内で施工した治山及び林道工事の受賞者に対し行われ、桂川森林整備部長が、審査報告した後、城土局長から表彰状を授与しました。

また、富山県、岐阜県、愛知県内で工事施工した受賞者に対する表彰伝達式は、三月一日に名古屋市内で行われ、竹林次長（名古屋事務所長）からそれぞれ表彰状を授与しました。

なお、農林水産大臣賞及び林野庁長官賞の授与式は、局長表彰に先立ち、二月九日東京において行われました。各賞の受賞者は次のとおり

◎農林水産大臣賞

〔治山工事部門〕
株式会社佐々木工務店（中津川市）

◇上矢作（フジ小屋②）奥地保安林保全緊急対策工事 〔東濃署〕

◎林野庁長官賞

〔治山工事部門〕
木曾土建工業株式会社（木祖村）

◇尾骨沢復旧治山工事 〔木曾署〕

〔林道工事部門〕
奥田工業株式会社（大桑村）

◇小川殿（川戸沢下）林道新設工事ほか 〔南木曾支署〕
株式会社水口土建（高山市）

◇鈍引沢林道新設工事 〔飛騨署〕

◎中部森林管理局長賞
〔治山工事部門〕
株式会社北條組（長野市）

◇硫黄沢復旧治山工事 〔北信署〕
株式会社後藤組（糸魚川市）

◇杉ノ平地すべり防止工事 〔中信署〕
株式会社水野組（伊那市）

◇東谷二復旧治山工事 〔南信署〕
大宗土建株式会社（南木曾町）

◇大迷沢奥地保安林保全緊急対策工事 〔南木曾支署〕
株式会社三六組（飯田市）

◇平成二〇年度ザ沢向復旧治山工事 〔伊那谷総治〕
大協建設株式会社（大鹿村）

◇平成二〇年度中洞地すべり防止工事 〔伊那谷総治〕
伊藤工業株式会社（魚津市）

◇北又谷復旧治山工事 〔富山署〕
新栄建設株式会社（立山町）

◇スゴ谷下流復旧治山工事 〔富山署〕
大山土木株式会社（高山市）

◇千間樽（紋十郎谷）奥地保安林保全緊急対策工事 〔飛騨署〕
金子工業株式会社（下呂市）

◇榎谷（白谷）復旧治山工事 〔岐阜署〕
岩佐土木株式会社（下呂市）

◇鹿山（下呂俣谷支流）復旧治山工事 〔岐阜署〕
株式会社梅田組（下呂市）

◇鹿山（下呂俣谷小谷）復旧治山工事 〔岐阜署〕
株式会社北原組（小海町）

◇大沼（内山）併用林道災害復旧工事 〔東信署〕

木曾土建工業株式会社（木祖村）
塩沢敷原林道改良工事 〔木曾署〕

株式会社青木組（下呂市）
株式会社所組（恵那市） 〔飛騨署〕

大ツゲ谷（治山資材運搬路新設）復旧治山工事 〔岐阜署〕

〔現場代理人、主任技術者及び監督職員 部門〕
奥田工業株式会社

主任技術者 西裏 進
木曾森林管理署 南木曾支署

監督職員 尾近 茂
小川殿（川戸沢下）林道新設工事ほか一工事

木曾土建工業株式会社
主任技術者 中崎 哲也

木曾森林管理署
監督職員 小嶋 友和

尾骨沢復旧治山工事
株式会社水口土建

主任技術者 和賀登和彦
飛騨森林管理署

監督職員 井上 智之
鈍引沢林道新設工事

株式会社佐々木工務店
現場代理人 五嶋 祐二

主任技術者 西村 幸弘
東濃森林管理署

監督職員 可兒 孝志
上矢作（フジ小屋②）奥地保安林保全緊急対策工事

急対策工事

最後となる中日造林賞贈呈式

― 中日新聞社に局長感謝状贈呈 ―

【名古屋】中部九県の優良造林地などを表彰する第五十五回中日造林賞の贈呈式が二月二十五日、中日新聞本社で行われました。

これは、中日新聞社と中部日本治山治水連盟が主催で、中部地方の林業発展に尽力されている個人・団体の優良造林地・功労者を表彰し、その業績を一般に紹介することによって、広く造林に対する関心を高めるもので、林野庁・中部森林管理局、中部九県（愛知、岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井、石川、富山）が後援しています。

贈呈式では、主催者の大島中日新聞社長から「受賞者の皆さんは各地域の模範となる活躍と功績を重ねられ、改めて敬意を表したい」と挨拶されるとともに「昭和三十一年から顕彰してきたが、近年、森林・林業の意義が環境や後継者などの課題がある中で行政に主体が移っており、中日造林賞は一定の役割を果たしてきた。名古屋営林局時代から中部森林管理局には、ご協力をいただきお礼申し上げます。今後は、林業振興などを紙面作りの面から協力したい」と、中日造林賞を今回で終了することも告げられました。

(3) 平成 22 年 3 月

この後、竹林審査委員長（名古屋事務所長）の審査結果報告があり、城土森林

管理局長から林野庁長官賞を、大島中日新聞社社長から中日賞、奨励賞をそれぞれ受賞者に贈呈しました。

城土局長は「受賞者の皆さんには、日頃からの森林づくりを積極的に取り組まれた成果のたまものであり敬意を表すとともに皆さんの取組を地域でも普及してもらいたい」とまた、中日新聞社に対しては「半世紀にわたった取組に敬意を表したい。自分の生まれた年から始められ同じ年月を歩んだ活動が終わることに寂しい感じもする。中部日本地域に声を伝える力で、森林・林業を新しい視点でご支援を願いたい」と挨拶しました。

続いて、受賞者を代表して、優良造林地の部門で林野庁長官賞に輝いた、岐阜県の和田光雄さんから「五十年前に、父親も同じ賞を受賞し、自分ももらえるように頑張った。賞を誇りにこれからも環境などに優しい森林づくりを進めたい」と挨拶がありました。

なお、造林賞贈呈式後、城土局長より中日新聞社に、中日造林賞を通じて地域社会における森林づくりと地域振興に大きく貢献したことに対して、感謝状を贈呈しました。

受賞者は二部門で次の方々です。（敬称略）

【優良造林地の部】

▽林野庁長官賞Ⅱ和田光雄（岐阜県郡上市）

▽中日賞Ⅱ青木力（富山県南砺市）、野

口佳正（滋賀県甲賀市）

▽奨励賞Ⅱ畑田清治（福井県小浜市）、

濱田耕輝（三重県紀北町）

【造林功労者の部】

▽林野庁長官賞Ⅱ大桑透（静岡県浜松市）

市）

▽中日賞Ⅱ坂本明（石川県穴水町）

▽奨励賞Ⅱ加藤清（愛知県豊田市）、

横山喜八郎（長野県上田市）



表彰状を受け取る受賞者

国有林間伐推進コンクール

【販売課】間伐の優良事例の普及に努めるため、平成二十一年度も林野庁で国有林間伐推進コンクールの募集が行われました。

当局からは、例年一事例の応募であったところですが、各署等の低コスト作

業システムの取組が進んできていることもあり、今年度八事例の応募がありました。

また、今年度からは、林野庁に推薦する優良事例について局長賞を授与することとし、選考委員会の審査により三事例を選定し、林野庁へ推薦したところ、日和田林産(有)がみごと優秀賞を受賞され、その賞状の授与は、二月十六日飛騨森林管理署で行われました。

森林整備として間伐を進めていく中で、森林・林業再生プランの趣旨に即してできる限り搬出して利用することが求められており、低コスト作業システムの更なる普及・定着を図っていくため、平成二十二年度に向けてより多くの応募を期待しています。

林野庁長官 優秀賞

日和田林産有限会社

（高山市）

中部森林管理局長賞

日和田林産有限会社

（高山市）

北信州森林組合

（飯山市）

有限会社高遠興産

（伊那市）



原飛騨署長より
日和田林産有限会社へ賞状の伝達

「森林・林業社会貢献活動 局長感謝状贈呈式」

〔総務課〕平成二十二年三月十一日、中部森林管理局で平成二十一年一月から平成二十一年十二月までの一年間において、災害時における防災ボランティア活動や国土緑化推進等を通じた森林づくり活動、地域の奉仕活動等における地域連携・社会貢献活動などに進んで携わっていただいた企業、団体の中で、特に顕著な功績のあった九企業及び六団体に局長から感謝状の贈呈を行いました。

台風通過後の安全パトロールや歩道の整備、ゴミ拾い等の清掃活動などを行った二十団体、一七三企業から実績の提出があり、審査の結果次の団体・企業に局長感謝状が贈呈されました。
受賞者は次のとおり

◇森林づくり活動部門

名古屋林業土木協会付知支部

名古屋林業土木協会中津川支部

有限会社つち創工社

付知土建株式会社

株式会社杉田組

◇防災ボランティア活動部門

名古屋林業土木協会

名古屋林業土木協会古川支部

有限会社共和土木

三留野土建株式会社

株式会社青木組

◇地域連携・社会貢献部門

木曾の自然を愛する会

名古屋林業土木協会愛知支部

尾澤建設株式会社

株式会社加藤工務店

有限会社共和土木



局長感謝状を贈呈されたみなさん

平成二十一年度 国有林モニター会議の開催

〔企画調整室〕二月二十五日、国有林モニター会議を中信森林管理署において開催しました。

国有林モニター会議とは、幅広い国民の皆さまの声を聴きし、開かれた「国民の森林」にふさわしい国有林野の管理経営を推進するため、平成十六年度から

進めている取組です。

会議には、全三十名のうち管内一円からお集まりいただいた九名のモニターの皆さんと、当局から計画部長、森林整備部長、中信署長等が出席しました。

午前中は、松本市アルプス公園から、絶好の天気の中、北アルプス等を望みながら、中信署長より国有林野分布や地域での取組についての説明を行いました。モニターの皆さんからは、「森林限界を超えたアルプスの頂上まで林野庁が管理しているんだ」など驚きの声もあがっていました。

また、木材利用推進の事例として長野県森林組合連合会 中信木材センターにおいて県産材を利用した建物や木材を販売する市場を見学しました。「この建物の木材は全て地元材を利用している」と説明を受け、モニターの皆さんから感嘆の声が上がっていました。

午後は、場所を「中信署会議室」へ移し中部局、中信署の事業概要等を説明し、その後、事前に聴取したモニターの皆さんからのご意見やご質問にお答えし、また、意見交換を行いました。

モニターの皆さんからは、「一般の者が国有林を利用する制度をより進めてほしい」「ニホンジカによる被害等の森林被害への対策の難しさが解った」「民有林の手入れの参考にしたい」等様々な意見が出され、活発な会議となりました。この会議でいただいた貴重な意見を参



モニターとの意見交換会の様子

国有林の森林計画づくりに おける懇談会を開催

〔計画課〕二月二十日と二十八日に、良川森林計画区内（岐阜県）の岐阜県郡上市と尾張西三河森林計画区内（愛知県）の瀬戸市において、地域住民の方々と地域の国有林について情報や意見交換を行う「懇談会」を開催しました。

これは、昨年度からの取組で、国有林の森林計画づくりに先立ち広く地域の情報や意見を聴くためのものです。尾張西三河森林計画区では、瀬戸国有林（定光寺自然休養林）で間伐実行箇所やレクリエーション施設の見学会とあわせて行いました。

懇談会では、森林計画区の概要や国有林において日頃取り組んでいる話題提供を行い、参加者の皆さんから国有林への



現地見学会の様子（尾張西三河森林計画区）

関心や期待、情報についてのお話を伺いながら意見交換を行いました。計画区によりそれぞれ特徴がありますが、参加者の皆さんからは、「国有林では、複層林への転換を図り、保水力の高い森林を目指していることは良いことだ」、「自然休養林は、学校教育の一環としてインタープリターが案内するなどの取組を行って欲しい」、「今回の懇談会のような話し合いをもったことはすばらしい。このような情報交換できる機会をもっと作っていただきたい」等の意見が出ました。

この二地区のほか、昨年十月には中部山岳森林計画区（中信・木曽署）において同様の会を開催しています。

今後とも、このような取組を継続し、地域の皆さんとの繋がりを深めるとともに、地域の情報を森林計画に反映していきたいと考えています。

出前授業終了

「岐阜署」三学期も中盤が過ぎ、各小学校では進級・進学に向けて各種行事が行われる中、今年度の下呂市内小学校における出前授業が二月十七日終了しました。

この出前授業は下呂市教育委員会より、下呂ロータリークラブを通じ、森林について授業をしてもらいたいと依頼があり四～六年生を対象に実施しているものです。

初めての授業の時は、少し難しい言葉で話してしまったため、子供達が理解できないこともあり、学校の先生に助けを求めるなどしましたが、その後、子供達に合わせた言葉を使って授業を行った結果、理解も早く、小学校からも高い評価を受けています。

今年度は、今年六月に岐阜県において



循環の説明で手伝いをする児童

「全国豊かな海づくり大会」が開催されることもあり、「森林」と「海」との繋がり（循環）についての授業を中心に、実験や工作を行うなどしており、一単元（四十五分）ではもったいないとの声が聞こえる中、子供達に「森林」に興味を持ち、理解して、そして「緑」の応援団になってもう目標については、達成できなかったのではないかと思います。

なお、今年度の下呂市内小学校の出前授業は五月二十日～二月十七日の期間、十二校で行い、児童、教職員合わせて四〇〇名以上が授業を受けています。

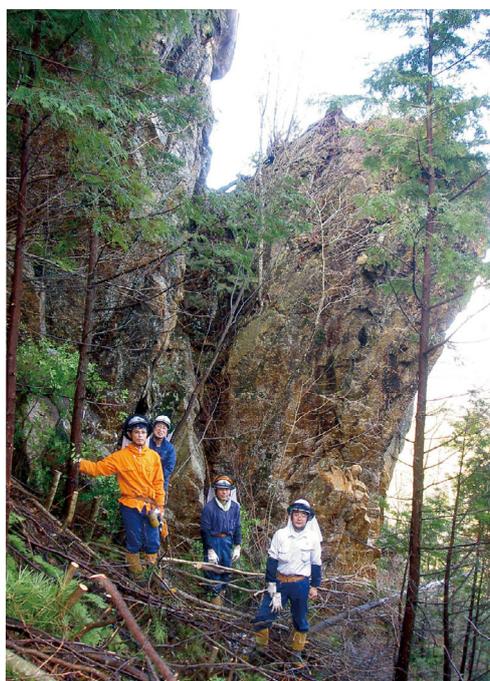
シリーズ 現場最前線

災害に強い山作り、災害のない 明るい職場作りを目指して

「木曽森林管理署 瀬戸川・氷ヶ瀬班」

長野県木曽郡王滝村は、長野県の最西部に位置し、村内約二六、〇〇〇畝の国有林を王滝治山事業所、四森林事務所（瀬戸川、氷ヶ瀬、南滝越、北滝越）十七名で管理しています。

瀬戸川・氷ヶ瀬班は、王滝・御岳・樽沢国有林の約二、〇〇〇畝の



区域を管轄し、基幹作業職員四名で、霊峰御嶽山の山懐に抱かれた山深い中、春から秋は獣害対策、歩道修理、林道維持、境界巡検、調査、森林保全管理等、また冬は除伐・枝打などに二畝を超える笹覆地や岩石地等条件の厳しい中で作業を行っています。

このところの雨や春のような陽気で雪解けがかなり進んではいるものの、作業地には凍った箇所も残っており、毎朝のミーティングでは、足場足元に注意、上下接近作業の禁止、熊対策、通勤時の交通事故防止等を話し合い、緑十字の日に言う安全懇談会では、ヒヤリハットやその対策等を出し合い、活発な議論を行っています。

今後も災害に強い山作り、災害のない明るい職場作りを目指して、皆で一丸となつて安全作業に取り組んでいきたいと考えています。

